

葵 AOI

No.138

令和8年 春

徳川美術館

THE TOKUGAWA ART MUSEUM



豊臣兄弟！展紹介

NHK大河ドラマ特別展

展覧会
紹介
P2~4



エッセイ

P5

秀長さん

真言宗僧侶 春岳院住職 藪中 真弘氏

研究ノート

P6

「調馬図屏風」に描かれたシマウマ？

インタビュー

P7~8

刀の中にある“物語”を、未来へ

大和郡山市指定文化財 豊臣秀長像(部分)
江戸時代 天明8年(1788) 奈良・春岳院蔵
展示期間:4月18日~5月17日

豊臣秀長(1540~91)は、豊臣秀吉の弟で、秀吉の天下一統に大きく貢献した。本図は秀長の200回忌法要に際して製作された肖像画とされる。奈良県大和郡山市にある秀長の菩提寺・春岳院に伝わる。

NHK 大河ドラマ特別展

4月18日(土)～6月14日(日)

[前期] 4月18日(土)～5月17日(日)

[後期] 5月19日(火)～6月14日(日)

本館展示室/名古屋市蓬左文庫 展示室1・2

大河ドラマ

豊臣兄弟!

2026年の大河ドラマ「豊臣兄弟!」の主人公は豊臣(羽柴)秀長である(図1)。秀長と聞いても、大半の人にとってはその活動や人となりを思い浮かべるのは難しい人物だっただろう。どちらかと言えば、というよりも圧倒的に兄・豊臣秀吉の方が有名人である(図2)。そして残る史料も作品も断然、秀吉に関するものが多い。秀吉に関す



図1 豊臣秀長像(部分) 文禄2年(1593)賛 京都・大光院蔵【後期展示】

図2 重要文化財 豊臣秀吉像(部分) 桃山～江戸時代 17世紀
京都・高台寺蔵【前期展示】

る展覧会はこれまで日本各地で行われてきたが、秀長の事績を大々的に取り上げ、なおかつ秀吉の事績も合わせて通史的に見られる展覧会は「史上初!」であり、後にも先にも本展だけではないだろうか。本展を通して、秀長と秀吉の足跡をお楽しみいただきたい。

本展は基本的に時代順に展開する。第1章では、信長に付き従って転戦していた時代を紹介する。秀長の行動が史料上で確認できるのはあまり早くなく、天正元年(1573)からで、時に34歳。このころの秀長は但馬^{たじ ま}や播磨^{はり ま}(現在の兵庫県)・因幡^{いな ば}(現在の鳥取県)での合戦で力を発揮し、但馬や播磨の一部も統治した。水攻めで有名な備中高松城攻めにも出陣している。

第2章では信長亡き後、秀吉が天下を統一するまでの日々を取り上げる。小牧・長久手の戦いを皮切りに、紀伊・四国・九州を攻め、小田原攻めの後、秀吉は天下を統一する。病床に臥していたために不参加だった小田原攻め以外の合戦には秀長も出陣している。特に四国攻めでは総大将として、また九州攻めでは秀吉とは別ルートで九州を攻略し、戦後処理なども任されている。そのような秀長の活躍を当時やりとりされた古文書から感じ取っていただきたい。ちなみに秀吉が出した文書は事細かに指示を書いたり、感情が垣間見えたりすることもあるが、秀長が出した文書は、気遣いは見えつつも比較的冷静に物事を記している印象を受ける。

第3章では秀長が大和国(現在の奈良県)の支配を任せ、大和郡山の町制・箱本十三町^{はこもとじゅうさんちょう}の整備などを行っていた様子を取り上げる。なお大和郡山市には秀長が整備した都市基盤が現在も受け継がれている。また秀長の有力家臣にも着目し、横浜一庵^{よこはま いち あん}(一晏、良慶とも)や藤堂高虎^{くわ やま しげ はる}・桑山重晴なども紹介する。

趣向を変えて豊臣政権期の華麗で豪華な文化を取り上げたのが第4章である。茶道具では秀

長の所用とわかる「肩衝茶入 銘 薬師院^{かた つき ちゃいれ めい やく し いん}」(図3)をはじめ、時の権力者が手にした名品の数々や、秀長・秀吉ともに愛好した能にまつわる作品などを多数紹介する。

第5章では豊臣政権の落日を取り上げる。当時、病気になると平癒^{へい ゆ}祈祷が行われた。どうやら晩年の秀長はしばしば体調を崩していたようである。図4は大半が朱色の文字で異様に思えるが、これがまさに秀長の病気平癒を願って記された、秀長51歳の時の祈りの古文書である。



図3 肩衝茶入 銘 薬師院 南宋～元時代 13～14世紀
兵庫・香雪美術館蔵【通期展示】

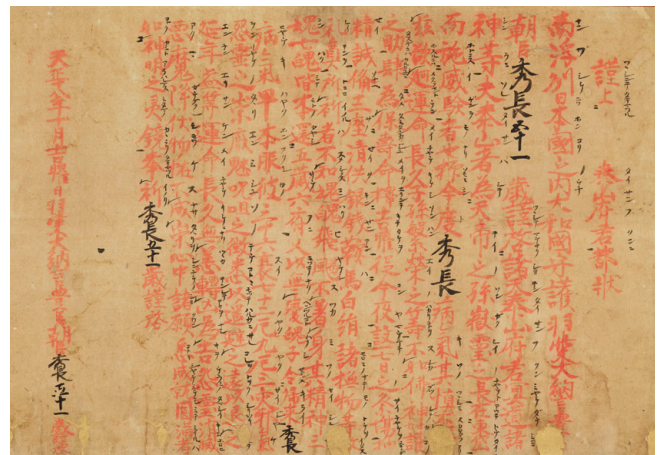


図4 豊臣秀長都状 桃山時代 天正18年(1590) 奈良国立博物館蔵【前期展示】

本展は豊臣ゆかりの品を所蔵する各府県市・館・寺社・個人などの多大なるご協力のおかげで兄弟の足跡をほぼ通覧できるほどの作品が一堂に会した。しかし歴史の神髄は展覧会だけではなく、現場にもある。豊臣の天下ののちは徳川の天下となった。それを象徴するかのように、現在ある徳川の大坂城の下には豊臣の大坂城が眠っている。また尾張徳川家初代^{よしなお}義直の弟・^{よりのぶ}頼宣（後の紀伊徳川家初代）が支配した和歌山城には、豊

臣と徳川の石垣が混在している。豊臣の世がなければ徳川の世も、ひいては御三家の歴史も違っていたかもしれないと思うと、歴史の繋がりと重みを改めて感じるのである。

ぜひ多くの方に本展を見て、秀長と秀吉の足跡や人となりを掴んでいただき、その後、彼らがいた・見た、豊臣ゆかりの各所にも直接、足を運んでくださることを願っている。

（学芸員 板谷寿美）

展覧会関連情報

入館料のご案内

2026年4月7日(火)より入館料が変わります。NHK大河ドラマ特別展「豊臣兄弟!」は、入館料改定後初めての展覧会です。お間違いのないようご注意ください。

	一般	高大生	中学生以下
特別展・企画展開催時	2,000円 (現行：1,600円)	1,200円 (現行：800円)	無料 (現行：500円)

オンラインチケット

徳川美術館 専用サイトにて好評発売中！



音声ガイド

NHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」で主人公秀長を演じる仲野太賀さんが、豊臣兄弟ゆかりの品々の魅力をご紹介します。

貸出料金 お一人様 1台700円(税込)

◆アプリ配信版「聴く美術」(ios / Android)

販売価格：800円(税込)

配信期間：4月18日(土)～11月8日(日)(予定)

ナビゲーター 仲野太賀(俳優)



エッセイ

秀長さん

豊臣秀長公、秀長は豊臣秀吉の3歳下の弟である。尾張国(今の愛知県)中村で農民の子として生まれ、早くに家を飛び出した兄に代わり、幼い頃より家族とともに田畑を耕し生計を立てていた。そんな秀長が14歳になった時、織田信長に仕官していた兄・秀吉が突如舞い戻ってきた。そこから秀長の人生は大きく変わり始めるのである。

織田信長・豊臣秀吉・徳川家康といえば教科書だけでなく映画やテレビドラマ、小説に漫画と特に歴史好きで無い方でも知っている。武田信玄・上杉謙信・明智光秀・石田三成・伊達政宗、一度は耳にしたことがあるだろう。豊臣秀長は、今年のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」の主人公である。が!! 大河ドラマの発表以前に豊臣秀長の名前、そして秀吉との関係をご存知だった方はどれほどいらっしゃるだろう。

奈良県大和郡山市にある豊臣秀長公の菩提寺・春岳院は、秀長公のお墓(大納言塚)やお位牌をおまもりし菩提を弔っている。地元では「大和^{やまと}大納言^{だいなごん}」「秀長さん」と呼ばれ親しまれている秀長は天正13年(1585)、紀伊・和泉・大和 百万石の大大名となられ大和国の郡山城へと入られた。古くからの寺社勢力が強かった大和の地で「箱本制度」「禁制」と、この地を統治するための政策を次々と打ち出し、同時に「刀狩り」「検地」を行い大和国を治め、兄・秀吉の全国統一に大きく貢献した。

菩提寺である春岳院には、「箱本^{はこもと}十三町^{じゅうさんちょう}」と呼ばれる箱本制度に関する文書や、文書を入れていた「御朱印箱」、また秀長公の二百回忌の際

真言宗僧侶 春岳院住職
高野山大学文学部密教学科卒

やぶ なか しん こう
藪中 真弘



1971年、奈良県大和郡山市でお地蔵さんのお寺・アジサイ寺として知られる矢田寺大門坊にて生まれる。
ご縁があって1997年、春岳院先代住職の一人娘さんであった妻と結婚。副住職として日々東奔西走。
2024年3月5日高野山真言宗総本山金剛峯寺にて春岳院住職の任命を受ける。
1週間後の3月12日、NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟!」の発表に驚愕!!

に、狩野派の画家・梅軒^{ばいけん}員^{いん}信^{しん}によって描かれたという秀長公の肖像画、四百回忌の際に作られた秀長公木像が大切に保管されている。箱本制度は、今の和歌山県の基礎ともなっており、秀長の優れた統治能力を示している。温厚で、誰からの信頼も厚かったとされる秀長は秀吉を補佐し、多くの武将(大名)や家臣団との間をとりまとめたといわれている。そのため今までは「文武」でいうと「文」のイメージが強い秀長であったが、戦いにおいても先頭や殿、さらに、殿の中でも最も危険で重要な最後尾を任される事もあった。そのような中でも秀長は生き残り、大きな武功・成果を出している。そう! 実は秀長は「文武両道」のとても優秀な人物だったのである。秀長の墓所である大納言塚には、そんな「秀長さん」の文武両道のお力にあやかっただけで願いを叶え導いてくださるといわれる「お願いの砂」というものもある。

秀長公の肖像画や木像を見て「ご縁」を結び、大和郡山を散策して長い歴史の一端に触れてみてはどうだろう。秀長公の菩提寺である春岳院、第27代目の住職が私、藪中真弘です。

「調馬図屏風」に描かれた シマウマ？

学芸員 長谷川 円

武家社会において馬術の鍛錬は重要なたしなみでした。馬を調教することを「調馬^{ちようば}」といい、近世初期には武士による調馬の情景が大画面の屏風に描かれるようになります。もっとも初期の作例である醍醐寺蔵「調馬図屏風」では、背景の多くが金地で覆われ、疾走する馬と馬を乗りならす武士の姿が大きく描かれていますが、やがて舞台は武家屋敷の庭先へ移り、多賀大社蔵「調馬・厩馬図屏風」のように、主人や周囲の人々が見物に加わるなど、調馬の情景を風俗として味わう要素が強まっていきます。

当館が所蔵する「調馬図屏風」は、そうした風俗画的な性格の強い作例です(図1)。金箔地の画面に馬場が広がり、馬場の外では貴賤問わず群衆が見物し、より開かれた野外風俗の情景へと変化しています。本図は江戸時代には尾張家にあり、明治5年(1872)に名古屋の豪商・岡谷家へ下賜され、昭和40年(1965)に岡谷家から当館へ寄贈されました。天保15年(1844)には尾張家12代^{なり たか}齊莊が参勤交代の際に旅宿で用いたという記録もあり、旅先で当主の目を慰めるにふさわしい画題として受容されていたことがうかがえます。

本図の魅力の一つは南蛮風の衣服など華やかな武士の装いですが、馬の見た目への関心も並々ならぬもので、多様な毛色や模様が細かに描き分けられています。とりわけ、右隻に描かれる白い毛に黒い縦縞を持つ馬はとても珍しく、作品を見た方から「シマウマですか?」とよくお尋ねをいただきます。明和5年(1675)、エチオピアのシマウマがオランダから日本の天皇へ献上されたという記録がありますが、その後の日本で広く認知された訳ではありません。また、シマウマは気性が荒く、乗馬には不向きと言われます。では、この馬のイメージはどこから来たのでしょうか。



(図1) 調馬図屏風 右隻部分 岡谷家寄贈 江戸時代 17世紀



(図2)
『異域図志』「福鹿」
明時代 1430年
ケンブリッジ大学図書館蔵

手がかりになるのは、「福祿^{ふくろく}」(福鹿)という動物です。シマウマは中国語では斑馬といいますが、古くは福祿とも呼ばれていたとされます。明代の地理書『大明一統志』には、ホルムズ(現在のイラン南部)の土産として「福祿」が挙げられています。さらに、異国の禽獣^{きんじゆう}を図入りで紹介する『異域図志』には「福鹿」が描かれ、全身に縦縞を持つ姿は実際のシマウマによく似ています(図2)。明代の南海大遠征で異国の禽獣への関心が高まり、ホルムズを経由して明へ、アフリカ大陸の珍しい動物のイメージがもたらされたのでしょう。時代は下りますが、幕末の本草学者・阿部^{れき さい}櫨斎の著書『隠居放言』には、「福祿 シマウマ」の項目で、西洋人が間道馬^{シマウマ}を日本に舶載し、櫨斎の父賢任がそれを写生した図を所蔵していたことが記されます。このことから、幕末頃にはシマウマのイメージが知識人に享受されていたことがわかります。

以上を踏まえると、「福祿」として明代の書物に見られるシマウマのイメージが17世紀頃に日本に伝わり、馬の模様を個性豊かに描き分けようという意識のもと、本図に取り込まれたと想定されます。また、「福祿」という言葉は幸福や俸禄を得るという吉祥的な意味を持ち、晴れやかな屏風の画題にも適しています。尾張家当主たちがこの屏風の馬を見て「何と珍しい模様の馬だろう」と話題にした場面も想像してみたくありませんね。

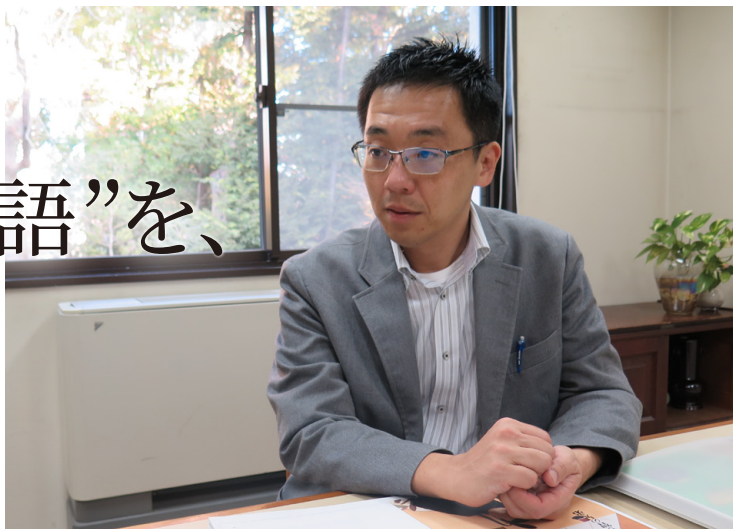
新コーナー

インタビュー

刀の中にある“物語”を、 未来へ

学芸員（専門：刀剣・日本書蹟）

高橋 哲也



昔から憧れていた場所

高橋さんは、徳川美術館で働き始めて1年が経過した。出身は、徳川家康が晩年を過ごした駿河（現在の静岡県中部）。歴史好きの母の影響で、幼いころから登呂遺跡や久能山東照宮を訪れ、自然に歴史や文化財に親しむ日々を送ってきた。

大学では保存科学・分析科学を専攻し、学芸員資格を取得。考古遺物や美術品の自然科学的調査や保存処理などを通して、どのような環境で文化財を守り、後世に伝えていくかを研究してきた。保存科学は、文化財の劣化に繋がる化学物質や虫・菌類をいかに防除するかを、化学的に検証する分野だ。理系の知識も求められる。

高橋さんは言う。「数値ではっきり“見える”ことが楽しいんです」

学生時代には何度も徳川美術館に足を運び、展覧会チラシを集めてファイリングするなど、当時はひとりの“ファン”として展示に向き合っていた。

「まさか、あの頃の自分が、ここで展示をつくる側になるとは思っていませんでした」。いま、高橋さんは刀剣と日本書蹟を担当する学芸員として、日々資料と向き合っている。

心を奪われた一点

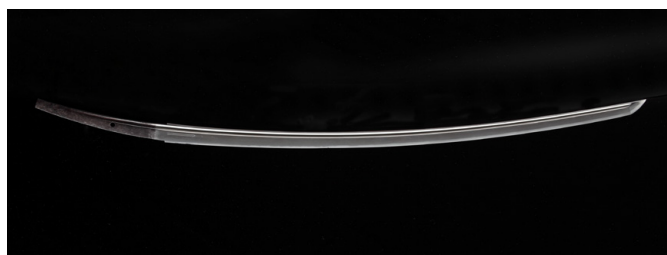
国内有数の大名道具コレクションを誇る徳川美術館。その中で、高橋さんが最も感動した作品が国宝「太刀 銘 来孫太郎作(花押)正應五年壬辰八月三十日」だ。2025年の夏季特別展「時をかける名刀」の展示作業で、初めて直接触れた。

「事前に扱う作品の担当が決まっているわけではないんです。その日その瞬間まで、自分が展示できるとは思っていませんでした。でも、もしかしたら!という期待もあって…」そして、手にした瞬間、心に浮かんできたのはただひと言。

「美しい」

高橋さんは、少し照れたように言った。

「やっぱり、刀剣の話ばかりになってしまいますね(笑)」そう言いながらも、その表情は、まるで少年のように、きらきらと輝いていた。



国宝 太刀 銘 来孫太郎作(花押)正應五年壬辰八月三十日

「アガる」瞬間は、刀の中にある

NHK 大河ドラマ特別展「豊臣兄弟!」。徳川美術館では異色ともいえる“豊臣家”をテーマにしたこの展覧会で、高橋さんは担当を務める。展示の中で、最も心が動く資料を尋ねると、即答だった。

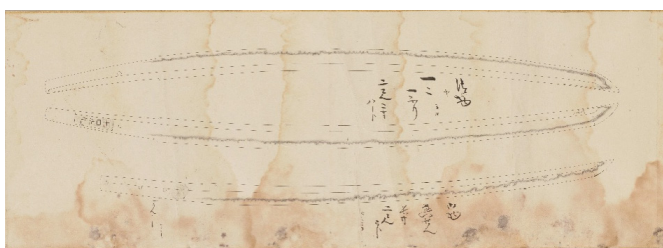
「本阿弥光徳が描いた“刀絵図”です。」

豊臣秀吉所蔵の名刀の数々を描いた“刀絵図”は国内でも数点しか確認されておらず、その最も代表的な伝本3点を徳川美術館で見ることができる。そこが何よりの見どころだ。

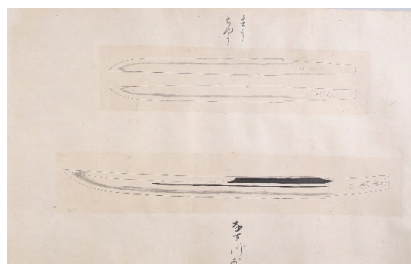
これら「刀絵図」には、秀頼から家康に贈られた「南泉一文字」、家康の没後に義直へ譲られた「鯨尾藤四郎」といった名刀の姿が描かれている。とりわけ高橋さんが力を込めるのが、「鯨尾藤四郎」だ。

「この刀は、大坂夏の陣で城が燃え、その炎の中で一度焼けてしまいました。でも、刀絵図には、焼ける前の美しい姿が残されています。今回は実物の刀も展示するので、絵で「焼ける前」、実物で「焼き直された後」という、二つの時代の姿を同時に見比べることができるんです。同じ刀なのに、まったく違う表情を見ることができる。これは本当に、特別な機会です。」

その言葉から、興奮がそのまま伝わってきた。こうした名刀の背景には、必ず“人”の物語がある。高橋さんがこの展覧会で伝えたかったのも、まさにその「物語」だ。



上「一期一振藤四郎」・下「南泉一文字」刀絵図（埋忠寿斎本）写 個人蔵



上「庖丁藤四郎」・
下「鯨尾藤四郎」刀絵図
重要美術品 石川県立美術館蔵

兄弟の物語を、あなた自身の物語へ

歴史上、兄弟の争いは珍しくない。源頼朝や織田信長も、その一例だ。しかし、秀吉と秀長は、最期まで互いに支え合った“稀有な兄弟”だ。「僕は一人っ子なので、兄弟の絆を本当の意味で理解しているとは言えないかもしれません。それでも、今に残る文書などの史料から、二人の深い信頼が伝わってきます。」秀長が長生きしていれば、豊臣家は安泰だったとも言われている。

本展では、その後にたどる運命の道のりまでを描く。「刀は、ただの“武具”ではなくて、人の生きた時間そのものだと思うんです。その物語を、ぜひ作品を通して一緒に辿っていただければ。」

PROFILE

たか はし てつ や
高橋 哲也



1982年

静岡県生まれ

ふくやま美術館・ふくやま書道美術館等を経て、
2025年1月より徳川美術館にて勤務。

特技はピアノ演奏、好きな食べ物は味噌カツ。

公益財団法人 徳川黎明会
活動支援基金寄附者名簿

—敬称略—

■ 法 人 ■

宗教法人 高岳院

宗教法人 政秀寺

株式会社名豊本社

(社) 茶道裏千家淡交会
愛知第二支部

株式会社山本油店

(株)オリエンタル
イベントクリエイターズ

合同会社むらやま

名古屋徳川ライフズクラブ

一般財団法人坂文種報徳会

(令和8年3月10日現在)



■ 活動支援基金のお願い ■

寄附の使途	徳川美術館および徳川林政史研究所の作品購入、収蔵品に関する 修理・研究調査・教育普及および環境等の整備拡充など
寄附金額	個人 一口一万円 法人 一口十万円 何口でも結構です。 所定の振込用紙で郵便局または銀行からお振込みいただけます。 振込用紙をご希望の方は当館寄附係まで御連絡ください。

公益財団法人 徳川黎明会

活動支援基金寄附者名簿

—敬称略・五十音順—

■ 個人 ■

ア

赤堀康彦
秋田節子
浅井みちよ
朝岡多磨美

コ

麻生由香
阿部隆夫
雨宮秀樹
有賀和子

イ

飯岡正毅
井口正俊
石原嗣治
石山秀和
伊東與有三

サ

岩下哲典
上野秀治

ウ

内田裕美

オ

大石浩哉
大崎 晃
大島真理夫

ス

大友一雄
岡田健児
奥川忠洋

カ

笠井 朗
加藤衛拡

キ

岸 拓也

貴布根楯雄
金 リンダ リ

チ

ツ

ト

後藤宗理
小林春子
小宮山敏和

ナ

近藤昭彦
齋藤恵美
坂本達彦
櫻庭茂大
佐々木剛志

ニ

佐藤孝之
澤 貴弘
柴田耕志

ハ

清水恵五
白根孝胤
新崎 鈞

ヒ

新崎美至子
鈴木康雄
鈴木要一郎

フ

染木知夫
高木俊輔
高山慶子

ホ

滝 正

竹内美智代

千葉晃泰
辻 智美
徳川喜壽

冨田和枝
長尾茂行
長澤大悟
長澤弘宣

中田英雄
南雲和江
新美達也
西尾千歳
西 光三

西田佳子
西村敏子

橋本暢子

服部はるみ

平田米男
平塚泰三

広瀬千明

深井雅海

深谷比呂美

福澤宏昭

伏屋重晴

堀井邦彦

マ

堀井久美子

前田種男

松尾美恵子

ミ

水谷鎮夫

宮島宏子

宮田励司

ム

村井俊哉

村上賢瑞

モ

持留宗一郎

ヤ

八神 基

柳澤由希

山崎久登

山本英二

(令和8年3月10日現在)